

## 第3章 消費者の行動 練習問題

1. 選好と効用をそれぞれ説明し、両者の違いを説明しなさい。
2. 1財を消費するときの効用関数を数式で表し、それを効用曲線として図示しなさい。また効用がゼロとなる2点、および効用が最大となる飽和点も図示しなさい。
3. 限界効用を数式で表し、それを効用曲線の接線の傾きとして図示しなさい。またそれが遞減する限界効用遞減の法則を図解も用いながら説明しなさい。
4. 限界革命を推進した3人の経済学者の名前を挙げ、どのように推進したのかを説明しなさい。
5. 基数的効用と序数的効用とをそれぞれ説明し、なぜ後者が優勢な考え方となったのかを、説明しなさい。
6. 選好順序が合理的であるための反射律、完全律、推移律について、それぞれ説明しなさい。
7. 2財を消費するときの効用関数を数式で表し、それを無差別曲線として図示しなさい。また同時に無差別マップも図示しなさい。
8. 2財間の限界代替率を数式で表現し、それが何を意味するか説明しなさい。
9. 無差別曲線が原点に対して凸であれば、限界代替率遞減の法則が成り立つことを説明しなさい。その場合消費者の選好タイプがどのようなものか、ご飯とおかずを2財の例にして説明しなさい。
10. 2財の場合の予算制約式を数式で表し、それを予算制約線として図示しなさい。
11. 消費者が効用最大化の結果として最適な需要量をどのように決定するか、数式を用いて説明しなさい。またそれを無差別曲線と予算制約線とを用いて図解により説明しなさい。
12. 消費者の所得が変化する場合、最適な需要量がどのように変化するか、正常財を例に

とつて図解により説明しなさい。

13. 價格が変化する場合、最適な需要量がどのように変化するか、代替効果と所得効果に分けて、図解により説明しなさい。
14. 代替材と補完財、粗代替材と粗補完財とを区別して説明し、それらを識別するためにはどのような便利な概念があるか、数式を用いて説明しなさい。
15. 需要法則の例外として代表的な3つのケースを説明しなさい。